

研究概要等

アジア文化交流史により生成した文化・宗教遺産を対象として、世界最先端の文化遺産と交流史のアーカイヴを有するアジア共創研究拠点を構築する

これまでの成果等

○アジア文化交流研究の推進：

- ・玄奘三蔵の記録と記憶をテーマとする新たな玄奘像を確立。
中央アジアと日本の玄奘研究の連接
- ・インドネシアとの交流推進。スラバヤ大学で国際研究集会開催（令和5年度）・スマラン大学との国際研究集会開催（令和6年度）

○文理融合研究・産学連携研究の推進

- ・陶磁器等資料の自動実測システム構築（特許出願済・審査請求中）
- ・文化遺産の3Dデータ観賞用Webアプリの開発・試験運用
- ・人工知能を利用した文化遺産の図像解析プログラムの構築

○真福寺大須文庫における知の交流史の再構築

○成果の刊行（令和4年度以降）：近本謙介（共編）『ハーバード美術館南無仏太子像の研究』、近本謙介・影山悦子（編）『玄奘三蔵がつなぐ中央アジアと日本』

今後の計画・構想等

- 人類文化遺産テキスト学研究センター・デジタル人文社会科学研究推進センターとの連携強化
- 文化遺産と交流史のアーカイヴ構築と発信

